

新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する対応事例について

【高齢者施設等関係団体から提示された課題】

- 施設入所者への感染防止には、職員や業者など、当該施設の出入りに伴う感染を防止する必要がある。
- 通所介護サービス（デイサービス）への対応に苦慮している。

高齢者施設等関係団体（福島県老人福祉施設協会、福島県老人保健施設協会、認知症グループホーム協議会、ほか）から聴取を行い、整理した対応事例は以下のとおりです。

《対策の基本的方向：事例》

- 1 感染防止対策徹底により新型コロナウイルスの施設への侵入を遮断
- 2 感染防止対策は、基本、インフルエンザ対策と同様

《対応事例》

1 基本的な対応事例

感染防止対策を徹底するため、施設・事業所での会議や打ち合わせの際に、繰り返し、感染防止対策の確認を行っている。

2 施設等職員への対応事例

- 施設職員が施設を出入りする場合の対応
 - ①施設に入る際：玄関での消毒、検温、マスク着用
 - ②施設から外出する際：施設長への伝達
- 職員が県外等に行く場合には、施設長に伝達（行き先、交通機関等）
- 職員の体調管理のため毎日検温、また熱がある場合には自宅で休養。

3 関係する業者が施設に出入りする場合の対応事例

- 施設に入る際：消毒、検温、マスク着用

4 通所介護サービス（デイサービス）での職員の対応事例

- 利用者を迎えに行く前の対応
 - ①送迎車内等の消毒
 - ②迎えに行く職員の消毒、検温、マスク着用
 - 利用者宅での対応
 - ①利用者の検温（検温している場合でも、事業者が体温を再検温）
 - ②①で熱がある場合には、基本、インフルエンザが疑われる時と同様の対応
- （参考例）

熱がある場合は、家族とケアマネージャーに連絡・相談し、医療機関への受診や自宅療養などに対応を移行している。